

平成28年度当初予算案の概要

平成28年2月16日

予算の特徴

◆ 【ターニングポイント (Turning Point) 予算】

市長任期4年目の総仕上げの予算

- ・新病院建設事業費 ⇒ 建設に着手し、平成30年4月開院の目途が立つ
- ・土地開発公社の解散 ⇒ 事業化できる土地は事業化し、残地については、第三セクター等改革推進債を活用し、市が代位弁済を行い解散する。
- ・平成28年4月に開催される「ジュニア・サミット」を絶好の機会と捉え、未来に向けた投資を行う。
- ・基金が年々目減りする予算構造の負のスパイラルに歯止めをかけ、財政健全化へ向かいつつある。

予算の規模

- ◆ 平成28年度の一般会計の当初予算は、平成27年度対比で **15.3億円 3.1%** 増の**517.9億円** (過去最大規模の予算)

※ 土地開発公社解散に伴う代位弁済 26.7億円

予算規模の推移

(単位：千円)

年度	H18 当初	H19 当初	H20 当初	H21 当初	H22 当初	H23 当初
予算額	46,885,407	47,586,761	46,116,225	41,682,149	45,066,253	45,059,881
増減率	2.2%	1.5%	▲3.1%	▲9.6%	8.1%	0.0%
年度	H24 当初	H25 当初	H25 当初+6月	H26 当初	H27 当初	H28 当初
予算額	44,596,947	44,139,430	46,985,069	47,656,205	50,258,277	51,792,795
増減率	▲1.0%	▲1.0%	※1 5.4%	※2 1.4%	5.5%	3.1%

※1 H25 当初が骨格予算のため、H24 当初に対する増減率

※2 H25 当初が骨格予算のため、H25 当初+6月 (肉付け補正後) との比較

◆ 各会計の当初予算規模 (単位：千円)

区分	予算額	前年度比
一般会計	51,792,795	3.1%
特別会計	32,122,779	▲3.2%
企業会計	12,480,261	5.9%
総計	96,395,835	1.2%

市税の状況

- ◆ 市税収入は、前年度対比で 2.0 億円、1.0% 増の 207.3 億円
 - 市民税 97.3 億円 (H27 96.7 億円、0.7%)
 - 個人 86.3 億円 (H27 84.9 億円、1.7%)
 - 法人 11.0 億円 (H27 11.8 億円、▲7.2%)
 - 固定資産税 86.2 億円 (H27 85.2 億円、1.3%)
 - 土地 (現年) 33.4 億円 (H27 33.4 億円、±0%)
 - 家屋 (現年) 35.5 億円 (H27 34.5 億円、3.0%)
 - 償却 (現年) 17.3 億円 (H27 17.3 億円、0.3%)

地方交付税及び臨時財政対策債の状況

- ◆ 地方交付税は、前年度対比で 0.5 億円、1.0%減の 48.5 億円
 - 普通交付税 40.5 億円 (H27 41.0 億円、▲1.2%)
 - 特別交付税 8.0 億円 (H27 8.0 億円、0.0%)

臨時財政対策債 21.5 億円 (H27 26.0 億円 ▲17.3%)

地方交付税 + 臨時財政対策債

70.0 億円 (H27 75.0 億円、▲6.7%)

繰入金の状況

- ◆ 繰入金は、前年度対比で 0.3 億円、2.7% 増の 13.2 億円
 - 財政調整基金 10.0 億円 (H27 10.0 億円、±0%)
 - 平成 27 年度末 財政調整基金残高見込み 33.1 億円
 - 平成 28 年度末 財政調整基金残高見込み 23.1 億円

繰越金の状況

- ◆ 繰越金は、前年度対比 5 億円、50%減の 5 億円

市債の状況

- ◆ 市債は、前年度対比で 9.5 億円、13.0% 増の 82.5 億円
 - 合併特例事業債 33.2 億円 (H27 22.9 億円、44.9%)
 - 臨時財政対策債 21.5 億円 (H26 26.0 億円、▲17.3%)
 - 第三セクター等改革推進債 26.7 億円 (皆増)

なお、平成 27 年度元金償還額は、51.0 億円

発行額の推移

	H24 当初	H25 当初	H25 6月補正後	H26 当初	H27 当初	H28 当初
一般会計	39.2億円	39.5億円	49.9億円	52.1億円	73.0億円	82.5億円
うち臨財債	25.0億円	25.0億円	25.0億円	27.0億円	26.0億円	21.5億円

年度末市債残高の推移

	H24 決算	H25 決算	H26 決算	H27 決算見込	H28 予算
一般会計	516.8億円	516.8億円	519.7億円	534.4億円	565.0億円
うち臨財債	196.1億円	217.3億円	235.5億円	246.8億円	253.3億円

義務的経費の状況

- ◆ 義務的経費は、前年度対比で 0.1億円、0.03% 増の 251.9億円
 - 人件費 95.6億円 (H27 97.4億円、▲1.9%)
 - 扶助費 99.0億円 (H27 97.8億円、 1.2%)
 - 公債費 57.3億円 (H27 56.6億円、 1.3%)

公債費の推移

	H24	H25	H26	H27	H28
一般会計	51.7億円	53.5億円	55.2億円	56.6億円	57.3億円

投資的経費の状況

- ◆ 投資的経費は、前年度対比で 17.0億円、31.9% 減の 36.4億円

投資的経費の推移 (下の行は対前年度比)

H24 当初	H25 当初	H25 6月補正後	H26 当初	H27 当初	H28 当初
26.8億円	17.3億円	39.5億円	32.1億円	53.4億円	36.4億円
19.7%	▲35.4%	47.5%	▲18.8%	66.9%	▲31.9%

その他の経費の状況

- ◆ その他経費は、前年度対比で 32.2億円、16.3% 増の 229.6億円
 - 物件費 74.1億円 (H27 76.9億円、 ▲3.6%)
 - 維持補修費 5.0億円 (H27 4.6億円、 9.2%)
 - 補助費等 93.8億円 (H27 66.3億円、 41.5%)
 - 積立金 6.4億円 (H27 3.6億円 78.9%)
 - 投資及び出資金 9.4億円 (H27 7.7億円、 21.5%)
 - 繰出金 39.7億円 (H27 37.2億円、 6.7%)
 - その他 (貸付金 1.0億円、予備費 0.2億円)

主な繰出金

国民健康保険	8.3 億円	(H27 7.0 億円、17.5%)
介護保険	15.5 億円	(H27 15.1 億円、2.8%)
後期高齢者医療	14.2 億円	(H27 13.4 億円、6.6%)

その他の財政指標

- ◆ 一般財源総額 327.9 億円 (H27 331.3 億円、▲1.0%)
- ◆ 一般財源比率 63.3% (H27 65.9%、▲2.6ポイント)
- ◆ 地方債依存度 15.9% (H27 14.5% 1.4ポイント)

平成 28 年度当初予算主な事業

1 全員参加型の市政の実施

- ◆ **オープンガバメント（情報政策事業費）** 【継続】 77万8千円 《総務費》
行政情報を二次利用可能な形式で公開し、市民等に用いてもらうことで、行政と市民等の協働による新たな活動やサービスを創出する
- ◆ **防災・減災対策計画等策定事業費（洪水避難計画策定）** 【新規】 294万9千円
◆ 《消防費》
揖斐川、長良川、木曾川、多度川、肱江川、員弁川の堤防決壊等による洪水災害時に市民が安全かつ迅速に避難できるよう、洪水避難計画を策定する。

2 納税者の視点で責任ある財政に

- ◆ **桑名市土地開発公社解散代位弁済費** 【新規】 26億6,793万9千円
《総務費》
土地開発公社の解散に要する経費について第三セクター等改革推進債を発行できる制度を活用し、公社を解散する。
- ◆ **公共施設マネジメント推進事業費** 【臨時】 211万円 《総務費》
長期的な視点で公共施設等のあり方や最適配置を検討し、財政負担の軽減・平準化を図る。
- ◆ **証明書コンビニ交付サービス事業費** 【新規】 323万4千円 《総務費》
平成28年1月に運用を開始した「個人番号カード」（通称：マイナンバーカード）を利用して、住民票、印鑑証明書、税の各種証明書の交付申請が今後可能となることに合わせて、コンビニ交付サービスを開始することにより市民の利便性向上を図る。
- ◆ **統一的な基準による地方公会計整備費** 【新規】 2,147万2千円 《総務費》
複式簿記による発生主義会計を導入することにより、単式簿記による現金主義会計では把握できないストック情報やコスト情報を把握し、財政の透明性を高め、説明責任を適切に果たす。

3 命を守ることが最優先

- ◆ **新病院整備事業関係費** 【継続】 44億3,801万円 《衛生費》
新病院整備に向けた経費を、財源等に応じて2会計に計上

一般会計

病院整備費 9億4,140万円（合併特例事業債）

地方独立行政法人 桑名市総合医療センター施設整備等貸付事業特別会計

事業統合費等貸付金 28億2,455万7千円（病院事業債28億2,440万円）
（繰入金15万7千円）

事業統合費等交付金 6億7,205万3千円（地域医療再生臨時特例交付金）

◆ **防災行政無線整備費** 【継続】 **5,360万円** 《消防費》

災害時に市民の生命財産を保護するため、災害情報の収集・伝達手段として効果的なデジタル同報系行政無線を整備する。

◆ **蓮花寺地区雨水調整池整備事業費** 【新規】 **8,950万円** 《土木費》

近年多発するゲリラ豪雨等に対し、浸水常襲地域である蓮花寺地区に調整池を整備することにより、浸水被害を軽減し、安全・安心な生活基盤の提供を図る。

◆ **空家等対策推進事業費** 【新規】 **619万4千円** 《土木費》

平成27年5月に空家等対策の推進に関する特別措置法が施行され、同法により、空家等に関する施策を総合的かつ計画的に推進することが定められているため、法で定める空家等対策の推進を図る。

4 こどもを3人育てられるまち

◆ **スクールソーシャルワーカー活用事業費** 【新規】 **275万円** 《教育費》

いじめ、不登校、暴力行為、児童虐待など児童生徒の問題行動などに組織的に対応するため臨床心理や社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて児童生徒の相談に応じたり、福祉機関等の関係機関とのネットワークを活用したりして援助を行う専門家であるスクールソーシャルワーカー（SSW）を学校に派遣し、諸問題等の解決を図る。

◆ **学校・園再編推進事業費** 【継続】 **491万1千円** 《教育費》

学校教育あり方検討委員会において調査及び審議を行い、子どもたちにとって望ましい学校教育環境を整える。

◆ **小中連携・一貫教育研究事業費** 【新規】 **100万円** 《教育費》

小中学校を見通した基本的な生活習慣・規範意識・学習習慣を定着させ、学力向上と「中1ギャップ」を乗り越える力につなげ、また子どもたちが夢や希望を持って学校生活を送るために、小中学校の教員の互いの教育への理解・関心を高めるなど一貫した教育が進められるように研究する。

◆ **大山田東小学校校舎増築事業費** **3億1,493万9千円** 《教育費》

住宅団地開発等により児童数の増加が続く大山田東小学校の教室不足に対応するた

め、幼稚園舎（平成 28 年 3 月閉園予定）を取り壊し、その敷地に校舎を増築することで、教室の確保を図る。

◆**私立保育園整備補助金** 【臨時】 1,580万4千円 《民生費》

私立保育園園舎の耐震工事に対し補助を行い、安全・安心な園舎を維持する。
対象園： 和泉保育園 光陽希望ヶ丘保育園

5 世界に向けて開かれたまち

◆ **ジュニア・サミット開催事業費** 【継続】 524万円1千円 《総務費》

28年4月開催のジュニア・サミットの開催及び開催準備経費

◆ **小学校英語活動推進事業費** 【継続】 715万円 《教育費》

小学校英語コミュニケーション推進の研究指定校を設定し、音声指導面での先進事例やよりよいティームティーチング体制などの研究を進める。また、市内小学生が一堂に会し、英語で体験し、交流し、発信する場として桑名イングリッシュキャンプを実施する。

6 地理的優位性を活かした元気なまち

◆ **桑名駅西土地地区画整理事業** 【継続】 《土木費》

桑名駅西土地地区画整理事業の推進を図るため、次の経費を計上

用地取得費 1億5,539万7千円

事業用地を桑名市土地開発公社から取得

土地地区画整備事業費 10億9,308万7千円

建物移転補償、道路整備他工事、事業推進化方策コーディネート業務委託など

◆ **道路ストック対策事業費** 【継続】 4,880万円 《土木費》

計画的な維持管理のため、老朽化により危険が生じている道路等の土木施設の総点検を実施するとともに、点検結果等を受け、老朽化した土木施設を補修し、利用者の安全を確保する。

◆ **橋梁長寿命化対策事業費** 【新規】 4,900万円 《土木費》

橋梁の長寿命化と維持管理費用の縮減のため、致命的な損傷が顕在化し、機能不全に陥る前に予防的な補修を実施し、利用者の安全を確保する。

◆ **北勢線運営支援事業費** 【継続】 1億1,635万2千円 《総務費》

北勢線を運営する三岐鉄道株式会社に対して運営費の支援を行うことで、沿線住民の交通手段を確保する。

- ◆ **養老線運営支援事業費 【継続】 6,061万2千円** 《総務費》
養老線を運営する養老鉄道株式会社に対して運営費の支援を行うことで、沿線住民の交通手段を確保する。
- ◆ **桑名駅周辺施設整備事業費 【継続】 1億8,000万円** 《土木費》
桑名駅自由通路・橋上駅舎化及び桑名駅東駅前広場を整備・再編することにより、交通結節機能の強化による地域交流の活性化と駅周辺における安全・安心を確保する。

7 桑名をまちごと「ブランド」に

- ◆ **文化事業開催費 180万3千円** 《教育費》
桑名石取祭の祭車行事（石取祭）は、ユネスコ無形文化遺産、「山・鉾・屋台行事」として無形文化遺産代表一覧記載に向けて、平成28年秋に再度検討される見通しのため、それにあわせ広く告知や記念イベントを行い、桑名市のブランド推進を図る。
- ◆ **桑名ほんぱく開催事業（ブランド推進事業費）【新規】 354万1千円** 《総務費》
市が誇る食や自然、歴史、文化などの本物を「見つけ出し」、「磨き上げ」、「大きくする」力、すなわち「本物力こそ、桑名力。」を具体化する取り組みの一つとして「桑名ほんぱく」を行う。「桑名ほんぱく」は、地域ならではの体験プログラムをたくさん集めて実施する催しで、桑名の魅力的な素材を盛り込んだ内容で企画する。
- ◆ **（仮称）堂ヶ峰公園 【継続】 3億5,308万4千円** 《土木費》
地球温暖化対策の一環で、都市の緑化の推進、緑地の整備及び保全を推進しており、市街地における緑を活かした公園整備を行う。
- ◆ **総合運動公園整備事業 【継続】 1億450万3千円** 《土木費》
サッカー場サブグラウンド人工芝舗装工事を実施する。
- ◆ **ご当地婚姻届等作成事業費 【新規】 150万円** 《総務費》
桑名らしさを生かしたご当地婚姻届や出生届を作成することで、結婚後や出産後により一層桑名市への愛着を持っていただくとともに少子化、定住の促進、子育てを支援する体制や暮らしやすさなどを桑名ブランドとして全国発信する。